

日交研シリーズ A-728

平成 29 年度自主研究プロジェクト

「端末物流実態の都市間比較分析」

刊行：2018 年 11 月

東京都市圏における端末物流実態の都市間比較分析

A Comparative Analysis of Urban Delivery Situation in Greater Tokyo Urban Area

主査：小早川 悟（日本大学理工学部教授）

Satoru KOBAYAKAWA

## 要 旨

第 5 回の東京都市圏物資流動調査では、1 都 6 県の 12 地区で端末物流実態調査が行われた。この端末物流実態調査は、本体調査（事業所機能調査）とは別に実施される補完調査として実施されたものである。これまでの端末物流調査や研究は、交通問題が顕在化している個別の地区を対象に行っているものであり、今回の調査のように複数の異なる地区を横並びで同じ項目による調査が行われたことはなく、非常に貴重なデータであるといえる。そこで、本プロジェクトでは、第 5 回の東京都市圏物資流動調査で実施された端末物流実態調査のデータを用いて、貨物車の路上駐車や横持ち配送が、自動車・歩行者・自転車といった他の交通流へ与えている影響を地区間で比較分析するとともに、小規模店舗が発生させる貨物車の発生集中原単位を求めることで、地区特性と端末物流の発生状況の関係を明らかにすることを目的とした。

キーワード：貨物車、端末物流実態、東京都市圏物資流動調査

Keywords : Freight vehicles, Delivery situation, Freight Movement Survey in Greater Tokyo urban area